

園庭整備がいよいよ
次の段階へ!

遊び場づくり

第7号 2021年12月23日

荒尾めぐみ幼稚園

木村歩美先生(おおぞら教育研究所)を園内研修にお招きし、1年が経ちました。大きく3つの点について学びました。

- ①保育者の不安感を減らし「ハラハラドキドキからワクワクドキドキ」する環境へ
- ②園庭の土や素材(葉っぱ・どんぐり)自然(水・空気・火)を豊かに
- ③子どもに任せられる遊具作り・環境構成へ

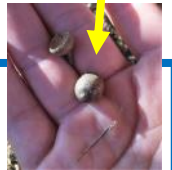
この3点を実現するために、Good Fathers Day、築山設置や園内研修そして他園訪問を行ってきました。先生たち自身も園庭マップを描き、さらなる園庭整備に向けて準備をしてきました。1年かかりましたが、いよいよ次のステップに向けて動き出します。大きく2つの整備を行います。

- ①築山(トンネルあり)とミニ築山の設置
- ②植樹2本



植木屋さんが、子どもたちが木登りが楽しめるように探し回り、甲佐で見つけてくれた「木斛(もっこく)」です。

こちらは「小檜(こなら)」。紅葉もきれいですが、何よりもどんぐりで一杯遊べるようにと探してくれました!



ローラー滑り台 → ミニ築山へ

木村先生に園庭を見ていただいた際に、危険箇所(ハラハラドキドキ)として改善が必要なものとしてアドバイスいただいた遊具がありました。当時あったジャングルジム、いままあるブランコや太鼓橋、そしてローラー滑り台などです。

ローラー滑り台も本来は公園基準の遊具であり、親や祖父母などが付き添っている前提で作られています。けれども、園では1人の保育者が複数の園児を見守ります。例えば、日本の配置基準では1歳児の場合、保育者1人に対する配置基準は6人となります。いるか組の場合は、2人の保育教諭が6人の園児を担当しているの、国の基準よりは手厚くなっています。それでもいるか・らっこ組の子どもたちが挑戦する際、特に上に登る際は、ハラハラドキドキしながら、最低1人の先生がすぐ近くで見守るようにしています。

今回の整備に合わせて、ローラー滑り台をいったん撤去し、ミニ築山にします。特にいるか・らっこ組にとってはミニ築山から見える大きな築山がワクワクするステップとなることを期待しています。

工事日程 1月6日(木)より約2週間

工事請負業者 こどもデザイン研究所

※普段木の机や駒作り(木育)をお願いしています

正門アーチ → 撤去

園正門のシンボルだったアーチですが、老朽化が進んでいます。また、今回の工事で大型車両が入れるように、撤去することとしました。

門自体も、来年度中には新しくすることを検討しています。



築山の名前(仮)は「小袋山」だそうですね!きりん組で話し合ってもいいですね。

